

表1 救急看護師のクリニカルラダー

定義	レベル		I	II	III	IV	V
	レベル毎の定義		基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとって最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
看護の核となる実践能力	ニーズを捉える力	【レベル毎の目標】	助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況(場)の特性を踏まえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)の関連や意味を踏まえニーズをとらえる
		【救急看護行動目標】	<input type="checkbox"/> 助言を受けながら健康問題に緊急性のあるケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手の状況から緊急度を捉えることができる	<input type="checkbox"/> 自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報を元に、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる	<input type="checkbox"/> 自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個性を踏まえ必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報から優先度・緊急度の高いニーズをとらえることができる	<input type="checkbox"/> 予測的な状況(場・緊急性・重症度)の判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる	<input type="checkbox"/> 緊急かつ複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる
	ケアする力	【レベル毎の目標】	助言を得ながら、安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
		【救急看護行動目標】	<input type="checkbox"/> 指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる <input type="checkbox"/> 看護手順やガイドラインに沿って基本的看護技術を用いて看護援助ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手に異常を察知したときは、他者に伝えることができる <input type="checkbox"/> 指導を受けながらケアの受け手や状況(場・緊急性・重症度)に合わせて基本的援助ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況から回復や悪化への変化を予測することができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況(場・緊急性・重症度)を判断し初期対応をすることができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況(場・緊急性・重症度)に応じた援助ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況(場・緊急性・重症度)、個性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況(場・緊急性・重症度)から回復や悪化への変化を予測し、その予後への対応の優先度を判断できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況(場・緊急性・重症度)を判断し、適切なケアを選択し実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性をとらえ、看護実践に反映できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況(場・緊急性・重症度)から回復や悪化への変化を予測し、顕在的・潜在的ニーズを抽出したケアに工夫ができる	<input type="checkbox"/> 情報収集を繰り返し、ケアの受け手の状況(場・緊急性・重症度)から心身の危機的状況の変化を含む幅広い視野で回復や悪化への変化を判断することができる <input type="checkbox"/> 予防的介入を実践し評価することができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズにこたえるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性を考慮して根拠に基づく看護を実践できる <input type="checkbox"/> 幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的な看護実践と評価ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護および看護以外の分野)を動員し、ケアを実践・評価・追及できる <input type="checkbox"/> 複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる
	協働する力	【レベル毎の目標】	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、他職種との連携ができる	ケアの受け手を取り巻く他職種の力を調整し連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、他職種の力を引き出し連携に活かす
		【救急看護行動目標】	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる <input type="checkbox"/> 情報を収集するに当たって急を要するものは何か考え共有することができる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる <input type="checkbox"/> 助言を受けケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる <input type="checkbox"/> 連絡・報告・相談ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解した上でそれぞれと積極的に情報交換ができる <input type="checkbox"/> 看護の展開に必要な関係者を特定できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者と密にコミュニケーションをとることができる <input type="checkbox"/> 看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる	<input type="checkbox"/> 緊急性のあるケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手と実施するケアについて意見交換ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手のニーズの優先順位を考え多職種と共有することができる <input type="checkbox"/> 積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手が置かれている状況(場・緊急性・重症度)を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる <input type="checkbox"/> 多職種間の連携が機能するように調整できる <input type="checkbox"/> 多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	<input type="checkbox"/> 複雑な状況(場・緊急性・重症度)の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自立的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる <input type="checkbox"/> 多職種連携が十分に機能するように、その調整的役割を担うことができる <input type="checkbox"/> 関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる <input type="checkbox"/> 目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる
意思決定を支える力	【レベル毎の目標】	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、他職種も含めた調整的役割を担うことができる	
	【救急看護行動目標】	<input type="checkbox"/> 助言を受けながら、危機的状況にあるケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる	<input type="checkbox"/> 危機的状況にあるケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々がこれまで生活してきた背景と意思との関連を意図的に確認することができる <input type="checkbox"/> 確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	<input type="checkbox"/> 危機的状況にあるケアの受け手や周囲の人々が意図的に必要な場を整えることができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々が意思決定をする際に必要な情報を共に整理しながら提供することができる <input type="checkbox"/> 危機的状況にあるケアの受け手や周囲の人々が意思決定を行うに当たって意向の違いがあることを理解できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いをメンバーや多職種に代弁できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の思いや考えを関連づけたケアをチームに働きかけることができる	<input type="checkbox"/> 危機的状況にあるケアの受け手や人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを調整し、チーム内でセンサス得ることができる <input type="checkbox"/> 意思決定とそのプロセスを倫理的に考え、ケアの受け手や周囲の人々の状況(場・緊急性・重症度)を考慮しながらケアを展開できる <input type="checkbox"/> 意思決定のプロセスや決定後のゆらぎに寄り添うことができる <input type="checkbox"/> 決定意思には医療者が全面的に支援することを表明することができる	<input type="checkbox"/> 適切な資源を積極的に活用し、危機的状況にあるケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる <input type="checkbox"/> 法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の人観と意思決定を統合的にとらえることができる	